

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)

【公開番号】特開 2002-175756 (P2002-175756A)  
 【公開日】平成 14 年 6 月 21 日 (2002.6.21)  
 【出願番号】特願 2001-282550 (P2001-282550)  
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 J 9/02  
 H 0 1 J 9/26  
 H 0 1 J 9/38  
 H 0 1 J 9/39  
 H 0 1 J 9/44  
 H 0 1 J 29/04

【F I】

H 0 1 J	9/02	E
H 0 1 J	9/02	B
H 0 1 J	9/26	A
H 0 1 J	9/38	A
H 0 1 J	9/39	A
H 0 1 J	9/44	A
H 0 1 J	29/04	

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像表示装置の製造方法であって、複数の電子放出素子を有する第 1 の部材と、前記電子放出素子が放出する電子が照射されて発光する蛍光体を有する第 2 の部材とを、真空雰囲気を実現している封着処理室において封着する工程を有しており、該封着の前に、前記電子放出素子に画像表示の時に印加される通常の駆動電圧値よりも大きい電圧を印加する電圧印加工程を行うことを特徴とする画像表示装置の製造方法。

【請求項 2】

前記電圧印加工程で電圧を印加する電子放出素子が、前記複数の電子放出素子のうち、特定の電子放出素子であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像表示装置の製造方法。

【請求項 3】

前記電圧印加工程で電子放出素子に印加する電圧が、対象電子放出素子により異なることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像表示装置の製造方法。

【請求項 4】

前記電圧印加工程を行った後、前記電子放出素子を大気に曝すことなく前記封着を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像表示装置の製造方法。

【請求項 5】

前記電圧印加工程は、前記電子放出素子が存在する領域内が  $1 \times 10^{-4}$  Pa 以下の圧力になっている状態で行うことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像表示装置の製造方法。

## 【請求項 6】

前記電圧印加工程は、前記電子放出素子が存在する領域内の有機物質の分圧が  $1 \times 10^{-6}$  Pa 以下になっている状態で行うことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の画像表示装置の製造方法。

## 【請求項 7】

前記電圧印加工程と前記封着工程の間にパネルゲッタ工程を更に有することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の画像表示装置の製造方法。

## 【請求項 8】

前記電圧印加工程に先立って、エレクトロンビームクリーニング工程を有することを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の画像表示装置の製造方法。